

# 一般県道野田長内線小袖～大尻地区のみちづくり

～ 地域の実情・ニーズを踏まえた道路整備 ～

県北広域振興局土木部

久慈市街地から海岸部を經由し、野田村へ向かう一般県道野田長内線は、通勤・通学・海産物の運搬等に使用される生活道路であるとともに、「北限の海女」で知られる小袖漁港や「つりがね洞」・「かぶと岩」など奇岩の多い小袖海岸を通る観光ルートとしても利用されています。

しかし、小袖地区から大尻地区の約3km区間は、道路の幅が狭く、すれ違いが困難で、大型バスの通行が難しいなど、観光面でも障害となっています。



優れた観光資源「つりがね洞」

現在は路線バス(中型)が通るのも一苦労



これらの問題を解消するため、この区間で大規模な道路改良を行った場合、大規模な事業費を要するほか、貴重な観光資源を大幅に変えてしまう可能性があることから、県では、生活道路としての「安全・安心」と「優れた景観の保全」を両立させるため、地域の代表や有識者の方々をメンバーとする「小袖～大尻海岸みちづくり懇談会」を組織し、この地区にふさわしい道路計画の策定を進めています。

平成22年12月20日には、3回目の懇談会を開催し、道路整備基本方針や道路の基本的構造の検討などを行いました。今後とも、懇談会などを通じて、地域の皆さんの声を聴きながら、地域の実情・ニーズを踏まえた道路整備を進めていきます。



地域の方々と話し合いを進めています

## 【これまでの取り組み】

平成22年9月4日

小袖地区事業説明及び要改善箇所の聴き取り

平成22年9月17日 第1回懇談会

懇談会の立ち上げ、現地視察 等

平成22年10月22日 第2回懇談会

住民アンケート結果整理、整備の方向性の検討 等

平成22年12月20日 第3回懇談会 道路整備基本方針の決定、道路の基本的構造の検討 等

## 【道路整備基本方針】 ～ 地域の安全安心とともに、美しい小袖海岸を守り育てるみちづくり～

生活・産業・観光など多様な道路利用や緊急時の円滑性に十分配慮するとともに、安全で安心なみちづくりを目指す。

景観や磯辺の資源に配慮しつつ、可能な限りの拡幅を行い、安全で円滑なすれ違いを確保する。津波や越波、土砂災害などの災害に対する安全安心の確保についても配慮する。

何ものにも替え難い地域の財産である美しい景観を残す。また景観をよりよく「魅せる」工夫を行うとともに、景観を「観せる」ための活用方法についても考慮する。